

風 紋

学校だより
第282号

発行所
明石市立大観小学校
平成29年1月10日(火)

大観小学校公式HP  <http://www.schoolweb.ne.jp/akashi/taikan-e/>

志をたて、自分にチャレンジ!

校長 境 正道



新年あけましておめでとうございます

平成29年(2017年)がスタートしました。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、健やかに穏やかな新年をお迎えのことと存じます。

去年は、本校の教育推進に温かいご理解とご支援を頂き、誠にありがたく感謝申し上げます。

お蔭さまで、子どもたちの元気な笑顔で3学期がスタートできました。3学期は短い学期ですが、6年生は中学校へ向けて1年生から5年生は次の学年に向けて今までを振り返り、まとめていく大切な時期です。「やり切った!」「心つながった!」「クラスの宝物ができた!」と言えるよう1人1人が力を発揮し、1日1日を充実させ、自信と信頼、よき思い出を胸に進んでほしいと願っています。

さて、2017年の干支(えと)は、酉年(とりどし)、丁酉(ひのととり)です。「酉」はもともと、酒壺のことで、果実の実りや収穫が多く、熟成すれば酒になるという意味です。志をもてば木鶏(もつけい)のごとく、ぶれずに進めます。鳥の目(俯瞰的に全体を遠くから)、虫の目(複眼的に多様に近くから)、魚の目(時代の変化や流れから)で見通し、振り返りながら、実り多い年にしましょう。

新年も、今自分の目の前のことに本気でチャレンジ! 早起き鳥のごとくとりかかりましょう。自立と貢献を一步一步。また、犬年と猿年の間にいる鶏が間をとりもつように、対話と協働を大事に進んでいきましょう。

去年は、オリンピック、イチロー、ノーベル賞など、日本人として誇りに思うことがありました。オバマ大統領の広島訪問も印象的です。また明石では、パラリンピック、駅前図書館、甲子園出場、皆で応援した B1グランプリ優勝、人口増加など嬉しいニュースがありました。本校でも地元のタコ、のり、防災、環境、健康、情報、制作、太鼓など、多くの出前授業や、明石の自然、姫路城・工場、奈良など校外学習で、学びを広げ深めてきました。今年も体験的・問題解決学習で、自分の気づきや発見を深め発信していきます。

6年生は、総合学習の「我家の防災ブックをつくろう」という学習で、地震について調べ、明石市の取組を聞き、「家族の命を守りたい」その一心から、それぞれの思いを出しあいました。「妹はどうしたらいいだろう?」「自分の命は自分で守る」「家族がそれぞれに逃げると信じ、集まる場所を決めておく」。こうした学校での学びが休み時間も家庭でも広がっていくことに、感謝しています。

音楽会や運動会などの学校行事では、「本気でチャレンジし、絆や気づきが深まり」各学年とも大きな成長が見られました。特に最高学年としての真剣な取組は感動的でした。それが「心のふるさと」として残り、「自分や仲間、地域を誇り」に感じられ、将来生きる支えになると思われます。

また安全面では、東門のカメラ設置、通学路の標識などの対策も進みました。欠席0の日が3日ありました。

日々の見守り活動や、3世代交流大観夏祭り・クリスマス会など、地域・各種団体、PTA皆さんの熱い思い、篤いご支援には感動・感謝しております。

地域には、おしゃたか祭り、秋祭り、衣川中校区合同補導など、「大観が好き!」という思いや「大観はすごい!」ということがいっぱいです。

大観校区の素晴らしい「教育資源」を活かせる「地域とつながった学校」でありたいと願っています。



ところで、幕末の歴史を動かした吉田松陰。「松下村塾」の基準は、身分に関係なく「高い志」と「至誠」でした。なぜなら志こそが事を成し遂げる一番の要と考えたからです。「アクティブラーニング」(主体的、対話的、深い学び)を耳にします。その根源は、子どものやる気に火をつけることだと思えます。

社会の進化が激しく、生涯学び続けることが求められる時代です。目標、意欲・関心を持ち、粘り強く、仲間と協働して取り組む力や姿勢、「学びに向かう力や姿勢」が何より大事になっています。

志をたてチャレンジする大観の子どもに、応援をよろしくお願い申し上げます。

今月のトピックス

- やる気スイッチ** 勉強やマラソンなど、自分に向き合い、チャレンジしている大観っ子!! 「わかる・できる」+「かかわる・つながる」=「チャレンジ!」→「かわる・チェンジ!」 iPS細胞でノーベル賞の山中教授が、**VW**が大事だと。ビジョン&ワーク。目標&努力。今からスタート。あきらめず。こつこつと。できるまで。「念ずれば花開く」(坂田真民) 流されず今の自分に向き合い、持てる力を出し切り、ヴァージョンアップしている子どもに拍手!
- 非認知能力+思考力**を伸ばすことが大事な時代です。AI(人工知能)の時代だからこそ。
 - ◎目標を達成するための「忍耐力」「自己抑制」「目標への情熱」
 - ◎他者と協力するための「社会性」「敬意」「思いやり」
 - ◎情動を抑制するための「自尊心」「楽観性」「自信」を高めておくことが大事です。**豊かな環境や体験**(〇〇競争、ごっこ遊び、読書、運動、音楽など)、**温かい言葉かけ**(ほめる・ひろげる・つなげる・深める)などで、**充実感**や**達成感**を味わわせながら、伸ばしていきましょう。
- キャリア教育**が大事です。**アイデンティティ(個性)・多様な世界観、職業観・勤労観**を育みます。「自立・協働・創造」に向かう力、様々な課題に柔軟かつたくましく対応する力を高めるため、「問題解決力、人間関係力、(生き方・考え方)・価値判断力、活私貢献力など」(認知能力)ももちろん大事です。幼・保・小・中の連携や、個性や特性に応じた指導の工夫も。

1月の行事予定

- 9(月)成人の日 ACTV楽しい給食 717Ch 9-15日 8:00- 13:00- 20:30-
- 10(火)始業式
- 11(水)給食開始 身体計測(1・2年) 席書会(4・5・6年) 委員会活動 職員会議 ACTV楽しい給食 地デジ11 18:00- 22:00-
- 12(木)身体計測(3・4年) 席書会(3年)
- 13(金)身体計測(5・6年) 子ども安全の日 PTA本部会
- 15(日)明石浦漁協左義長(8:00)
- 16(月)
- 17(火)シェイクアウト訓練 避難訓練・一斉下校
- 18(水)
- 19(木)
- 20(金)鑑賞会(③④和太鼓)
- 21(土)子ども会サッカー(明石海浜公園) 学校給食展(産業交流センター)
- 23(月)
- 24(火)代表委員会 教育相談 スクールカウンセラー来校日
- 25(水)放課後子ども教室
- 26(木)
- 27(金)
- 28(土)小学生駅伝大会
- 30(月)
- 31(火)こころの劇場(6年)



4年生

2017年(3学期)の目標

2学期がんばったこと

2年生

ぼくが2学期にがんばったことは、テストとかけ算の九九カードです。とくに国語のテストをがんばりました。九九カードは、ならった九九をぜんぶいえるようにがんばりました。九九カードで1ばんがんばったのは8のだんです。このちょうしで九九カードをスラスラ言えるようにしたいです。 田中 しょう太

ぼくが2学期にがんばったことは、2つあります。1つ目は算数です。九九カードやテストをがんばりました。2つ目はなわとびです。さいしょはこうさとびが1回もできなかつたけれどれんしゅうをいっぱいしたらできるようになりました。 古谷 かいと

2学期にがんばったことは、なわとびです。どうしてなわとびをがんばったかという、2じゅうとびができなかつたからです。れんしゅうしたらできるようになりました。前とびで、さいごまでのこれたのがうれしかったです。つぎは、こうさとびにチャレンジしたいです。 さか口 みゆ

わたしは、はじめ車を作るのはむずかしそうだなと思ったけれど、いろいろ車のことがわかりました。「どうして車がまっすぐ走らないのか」ということを、友だちとアイデアを出し合いながら、作ることをがんばりました。 寺田 天

2学期にがんばったことは音読はっぴょう会です。「お手紙」に出てくるとう場じんぶつの気持ちに合わせて、声の大きさをかえることをがんばりました。みんなでまちがえやすいところを何回もれんしゅうして、本ばんでぜんいんの声を合わせることができてうれしかったです。 木しま けいあ

2学期にがんばったことは車ランドの車作りです。くふうしたところは、タイヤをまっすぐつけることです。タイヤをつけるときに力を入れすぎてしまうとシャフトがまがってしまうからたいへんだったけれど、車がまっすぐはしってとてもうれしかったです。 元木 せあ

青木 秀喜 発表を1時間に1回はする。
石川 凜空 3学期もいろんなことがんばります。
伊藤 治輝 話をしている人に自分から反応する。

井上 湖乃香 文字(漢字)をていねいに書いたり、覚えたりすることをがんばる。
今村 天次朗 提出物をはやめにお知らせる。
小川 竜誠 漢字をていねいに書く。

金子 紗弓 自分で自信がないことでも発表できるようにがんばる。
河合 花歩 大きな声であいさつや返事をする。
川畑 敦也 もっとテストで100点をとる。

楠本 陽太 ちょっとした間違いをへらす。
佐瀬 聖空 算数を分かるまでがんばる。
下西ノ園 拓 4年生の今の態度や行動をしながら5年生になる。

豊谷 奈緒 学級代表になる。
谷 祐太郎 字や数字をきれいに書く。
常本 海瑠 時間割をよく見て、忘れ物をへらす。

戸田 永鈴 2学期よりも学校に早く来る。
長池 成樹 もっと大きな声で発表する。
東山 仁彩 発表を1日1回以上する。

肥後 遥己 人の意見に反対や賛成とかをつなげて発表する。
福井 虎太郎 忘れ物をへらす。
藤原 彩輝 先生や発表している人に聞こえる声でうけこたえをする。

水谷 豊総 クラスで1番声が大きくなるのと、返事をどの場面でも言えるようにがんばる。
山口 のあ 分からない所はちゃんと分からないって言うようにする。
横田 久留美 分からない人がいたら説明してあげられるようにがんばる。

吉川 結愛 算数の学習と発表がもっとできるようにがんばる。
吉元 和希 50m走のタイムを7秒台にする。
勝村 円敬 返事を大きな声で言う。

